私は、障がいの有無・所得・性別・国籍などにとらわれず、働きたい人すべてが仕事につき 、それぞれが社会参加の機会を見つけられる盛岡をつくるため努力します。　積極財政で雇用を増やし、所得向上と格差の是正に努め、自由で多様性を尊重する公平公正な社会をめざします。

こまった時に「助けて」と言える街に

○福祉・社会課題に取り組む団体へ行政は本格支援を　○地域にゆたかな居場所を

自家用車がなくても暮らせる街に

○免許返納世帯、車のない世帯に交通助成

○バスを使いやすく　○自転車に乗りやすく

ひとりひとりが大切にされる街に

○若者やひとり親の住居支援　○子どもの意見表明を支援　○所得制限なしで高校までの学費と給食費を無償に　○社会的少数者の権利擁護

○児童虐待防止の強化、盛岡市に児童相談所を

○地域のコミュニティ形成を支援

○市民の文化・芸術・社会活動を支援

働きたい人が仕事につける街に

○障がい者・病治療者・若者・中高齢者の就労支援　○非正規も労働条件改善　○官製ワーキングプアを作らせない　○市民のチャレンジオープン事業を支援

□消費税減税□原発廃止□沖縄に基地押しつけ反対

□ 3.11 を忘れない！□健康保険証は継続！

孤立と貧困に立ち向かう街に。支えられる地域に。

被災者支援をきっかけとして生活困窮者や子どもの貧困に取り組んで12年。多くの方々の努力で、市内のこども支援、困窮者支援が広がってきました。この取り組みをさらに行政が支え広げ、必要な人に支援を届ける仕組みにしたいと考えています。

困っている家庭を丸ごと支援したい

『子どもの貧困』と言われますが困っているのはそのご家庭だということを実感しています。子どもを育てることが難しいほど、時間やお金が厳しい人たちが増えてしまいました。家庭を丸ごと支援する必要を感じます。

国の改革を待っているだけでなく

国の税制や福祉支援の不足が原因だと思いますが、ただ待つわけにはいきません。市民活動や地域の力で補い、官民共同の子ども支援体制を作っていきましょう。当事者や市民のみなさんやNPO、民間企業、社会法人の方などは苦労して活動を始め、広げています。私は、行政がもっと本腰を入れて後押しするよう働きかけていきます。

積極財政で雇用、暮らしと所得を向上

急激な物価高に賃金や社会保障が追いついていません。若い世代の経済的な厳しさは少子化の原因になっています。雇用を増やし、賃金や年金の給付を上げれば、需要が拡大し好景気に転換します。

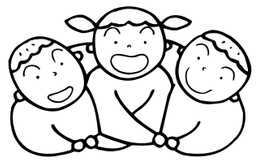
そのためには政府が積極財政策を取る必要があります。自治体で使えるお金が増えれば、暮らしを向上させる施策を行えます。

実現したいです。お力をお貸しください。

困った時に「助けて」と言える街に

子どもや若者、ひとり親などを支援する活動が増えてきました。行政がもっと本格的にこれらを支援し、連携強化すべきです。

「困った時に相談する人がいない」「助けて欲しいと言えない」福祉の充実を一番妨げるのは『孤立』です。子どもの居場所づくりなどの活動を通じて様々な人が知り合い、困難を抱える人を支えていく仕組みを確立したいと思います。



社会的ひきこもりや在宅療養の方、小さなお子様がいるご家庭などを訪ねる『アウトリーチ』をもっと増やすように頑張ります。

◆福祉・社会課題に取り組む団体へ行政は本格支援を

◆生活困窮者支援や児童虐待防止のために、関係機関の連携強化・拡大

◆子どもや保護者が様々な経験を持つ人と知りあえる子どもの居場所設置支援

◆福祉や相談のアウトリーチを拡充

自家用車がなくても暮らせる街に

免許返納を考えていても、その後の交通手段がないために踏み切れない、と多くの方が思っています。車がなくても暮らせるようにしていく必要があります。バスなどの公共交通が使いやすくなるよう乗換案内の使い方の周知やバス停配置について、市民の意見を集めながら研究します。また、オンデマンド交通などの導入も検討します。

自転車が安全に走れるように走行レーンの延長と交通安全の啓発を続けます。

◆バスをもっと使いやすく

◆免許返納や自家用車を持たない世帯への交通助成を

◆自転車走行レーン延長・交通安全啓発

ひとりひとりが大切にされる街に

盛岡市の平均所得は仙台市と比較して31万円以上少ないのにワンルーム～ＩＤＫの家賃は大きな差がありません。若者やひとり親への家賃補助を実現したいです。

今年の5月から盛岡市でもパートナーシップ制度が始まりました。セクシャルマイノリティの人たちだけではなく、ひとり親家庭やステップファミリー、障がい者、外国籍など少数者の立場に立った活動を続けます。

２０２４年度から『児童の意見聴取等の仕組みの整備』が都道府県の義務となります。子どもが自分の意見を言えるように支援し、アドボカシーセンターの設置を進めます。

子どもの声を聴くことで、虐待や困窮を放置しないまちづくりを進めていきたいと考えています。地域の有志による子どもの居場所づくりが広がることはコミュニティ再生にもつながっていくはずです。

◆若者、ひとり親の住居支援

◆社会的少数者の権利擁護と多様性の尊重

◆子どもの意見表明権を支援

◆児童虐待防止を強化し、盛岡市に児童相談所の設置を

◆地域のコミュニティ形成を支援

◆市民の文化・芸術・社会活動を支援し、生きがいづくりを

働きたい人が仕事につける街に

被災者やニートと呼ばれる人たち、障がい者や病気治療中の人々が、自分に合った仕事に就くことで活き活きと変わるのを見て、仕事は生活のためだけではなく社会参加の一つの形だと考えるようになりました。

「働きたい」と思っている人全員が仕事に就けるようなしくみを研究し、施策化します。

非正規労働者への差別待遇などの改善に努めます。同時に、指定管理事業など行政からＮＰＯなどへの委託費が低いままで据え置かれることの改善を図ります。官製ワーキングプア（国による働く貧困層）を作り出すことには断固反対します。

社会の多様化に合わせて、社会的な起業や市民から行政に事業提案を行うケースが増えています。このような動きを応援するために、非営利の一般社団法人へ税の減免を行うなど支援策を実施します。

◆障がい者・病治療中の方・若者・中高齢者の就労支援

◆非正規雇用労働者などの労働条件改善

◆官製ワーキングプアを作らせない

◆市民のチャレンジオープン事業を支援

積極財政で雇用をふやし、所得・暮らしの向上

日本の経済成長率は世界で168位。原材料の値上げなどを理由にした物価高、コストプッシュインフレが続く中、賃金や社会保障を増やしていかなければ市民のくらしが成り立ちません。貧困、非正規雇用の増加、自殺、地方の衰退、格差など様々な問題の背景にデフレがあります。デフレが20年間も続いているのは政府の取った緊縮財政と所得格差にあります。消費税増税はリーマンショック以上の悪影響を与えます。消費税の引き上げをしてはいけません。むしろ減税すべきです。

質問　積極財政って財政危機にならない？

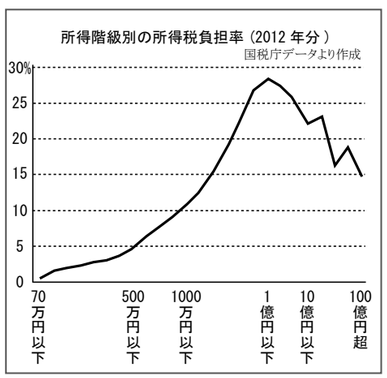
税金は会社や家計の収入とは異なり①インフレのコントロール②資産所得格差の是正③政策的誘導（二酸化炭素排出抑制のための炭素税など）④労働力の再配、などのためにあります。国は貨幣が発行できますし、日銀に払った国債の利子は国庫納付で国に戻ってきます。インフレのコントロールをしっかりすれば「国が財政破綻する可能性はない」のです。

景気を上向かせ、豊かな社会をつくるために福祉や教育、インフラ整備などに国はもっとお金をかけられます。

格差是正のための税制を

下の表は日本の金融資産（現金預金や株式・証券、その他債権など）の所有が富裕層に偏っていることを示しています。

21年の日本の富裕層は148万世帯、純金融資産総額は364兆円。11年からの10年間で世帯数は83％、純金融資産総額は94％増加しました。現在の日本の税制では、金融資産の保有に税金はかかりません。



2023 年野村総研作成		2009 年	2011 年	2013 年	2015 年	2017 年	2019 年	2021 年
超富裕層（5 億円以上所有）	金融資産額	45 兆円	44 兆円	73 兆円	75 兆円	84 兆円	97 兆円	105 兆円
	世帯数（万）	5.0	5.0	5.4	7.3	8.4	8.7	9.0
富裕層（1 ～ 5 億円所有）	金融資産額	150 兆円	144 兆円	168 兆円	197 兆円	215 兆円	236 兆円	259 兆円
	世帯数（万）	79.5	76.0	95.3	114.4	118.3	124.0	139.5

右は所得別で「所得税をどれだけ負担しているか」を示したグラフです。1億円までは所得が増えるほど税負担は重くなるのに、1億円を越えると税負担は軽くなっています。

これでは、国民の資産格差・所得格差は開き、景気低迷に陥るのは当然です。

①金融資産への課税
②法人の特別優遇の廃止
③総合累進課税の強化（高所得に高税率）

以上、３つの改革が必要だと思います。

いせ志穂のあゆみ

◆1962年盛岡市生まれ（61才）◆厨川小、厨川中、盛岡三高、岩大教育学部特美（中退）、パート後、アイワ岩手◆99年盛岡市議当選。既成の政党・団体からは支援を受けずにボランティア選挙と社会活動を続ける。現在、産業環境常任委員長◆チャイルドラインいわて結成時呼びかけ人（18年から事務局長）◆岩手しいの木会評議員◆青山まちづくり協議会企画・広報部会◆東日本大震災での経験から、困窮者支援の必要性を痛感。『フードバンク岩手』の結成に参加し活動◆子どもアドボカシーセンターをつくりたい◆めざすは『孤立せず楽しく暮らせる盛岡』◆マンガ好き。それ以上に活字中毒

あなたの”不安“を教えてください

困ったことや不安の解決が住みやすい街をつくると考えています、相談のみならず、意見、要望、不安に思っていることなどをお寄せください。
（匿名でもかまいません）

主な活動実績

フードバンクで困窮者に食料支援

被災地支援

ホスピスボランティア講座

自転車走行レーン

青山雪あかり

議会基本条例

◆社会保障・福祉の強化

- フードバンク岩手結成に尽力
- 被災地ボランティア受入に奔走
- 「マンガ家岩手応援ツアー」案内人
- 県内のホスピス設置に尽力、ホスピスボランティアの養成講座開催
- 「離婚前後親支援事業」の実施要請

◆子ども支援

- チャイルドラインいわて結成呼びかけ
- 犯罪に巻き込まれにくい公園設計提案
- 不登校・ひきこもり支援
- 高校まで学費無償化を（所得制限なし）
- 面会交流支援などを行なう「FPIC盛岡ファミリー相談室」会員
- コロナ禍の中で医ケア児の感染防止対策コーディネイトに関わる

◆まちづくり

- 自転車条例、車道に自転車レーンを実現
- 新駅アンケート調査、青山新駅設置実現
- 青山町覆練兵場保存
- 青山雪あかりの実施

◆雇用・景気回復

- 指定管理事業委託料の値上げに尽力
- 福祉や生活関連事業費の増員増額要請

◆市民参加・民主主義

- 政務調査費領収書添付義務を実現
- 議会文書をHPに公開
- 築川ダム利水縮小
- 市議会インターネット中継一部実現
- 子どもたちが参加した青山新駅レンガタイル貼りワークショップを実施

ボランティアとカンパ募集中

いせ志穂事務所と市民会議はボランティアとカンパで運営されています。このニュースを知人に手渡す、ポスティングするなどお手伝いいただける方は、ぜひご協力をお願いします。デフレの影響で賃金がなかなか上がらない中で大変心苦しいお願いですが、可能な場合はカンパへのご協力もよろしくお願いします。

（郵便振替口座 02280-9-140755　口座名称　市民会議）

事務所 盛岡市青山3−29−4　〒020-0133　電話・FAX 645−8510

http://ise.nahan.jp/　E-mail:ise@nahan.jp

発行　市民会議 2023.7.6 改